

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させてい
たきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 尼崎市立成良中学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒660-0805
尼崎市西長洲町2丁目33-22
Website : <http://www.ama-net.ed.jp/school/j01/>
児童生徒数：男子218名 女子199名 合計417名
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

〈知るための活動〉

4月から6月にかけて野鳥と巣箱の観察活動から環境を知る。

10月に馬とのふれあいから命の尊さを知る『ホースセラピー体験学習』を行なった。

徳島大学、阪神南県民局、尼崎市民と連携し、河川や海の環境観察を行い水質改善や生物多様性につながる取り組みを行った。

6月に音楽科と連携し、日本の伝統音楽から情操を育む学習活動を行った。

9月にソーラーカーを教材とした「環境にやさしいエネルギー学習」を行った。

12月に2年生で「妊婦体験学習」と題して生命倫理学習を行った。

〈調べ伝えるための活動〉

10月に調査研究した内容を文化発表会で発表した。

毎年12月に尼崎の海の水質改善と生物多様性につながる藻場を作るためにワカメの植え付けを行い、定期的な観察活動を行う。

〈つくり育むための活動〉

生物の育成を通して命の尊さを考える心と自然に対する畏敬の念を育むことを目的として取り組む。

全校を挙げて循環型社会の構築と生物多様性の学習を行うために、毎年5月に尼崎の海で栽培したワカメを収穫し、堆肥化し、作物の栽培学習を行う。

全校をあげて年間を通じて作物の栽培を行い、収穫した作物を活用し7月と10月に「収穫祭」と題して食育の学習会を行う。

全校をあげて屋上緑化や壁面緑化、地域緑化を行う。

3月に3年生が、行政や地域団体と連携し総合的な学習の時間と道徳の横断的な取り組みとして、生物多様性に富む森づくりのための植樹活動や間伐活動を行った。

〈伝え広めるための活動〉

